霞ヶ浦二橋建設に関する要望書

時下貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より市町村事業の推進について、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本同盟が推進する霞ヶ浦二橋は、霞ヶ浦の土浦入りと高浜入りの二つの入り江に橋を架け、北は茨城空港及び東関東自動車道（東関道）水戸線の茨城空港北ＩＣを経て茨城港常陸那珂港区へ、南は首都圏中央連絡自動車道（圏央道）及び利根川に架かる若草大橋を経て幕張新都心までを繋ぐ、実に壮大な地域振興を図る事業であります。

これまで、霞ヶ浦二橋につながる関連事業につきましては、県道のバイパス整備が着実に進められる中、圏央道の茨城県内４車線化の順次共用開始により、今後ますます交通利便性の向上に期待が寄せられるところです。

また、新型コロナウイルス感染症が５類感染症に移行となりましたが、テレワークといった働き方の変化や地方への関心が高まった一方で、東京圏一極集中の人の流れの変化といった影響が未だ続いており、地方創生の取組が更に強化されていくことが見込まれます。

このような状況において霞ヶ浦二橋が整備されることの意義は、交通利便性に加え、地域振興や交流人口の拡大、災害発生時における物資の輸送と避難経路の確保など、茨城県全体にとって大きなメリットであると考えられることから、平成８年に本同盟を設立し、建設促進へ向けた活動を継続して実施しております。

つきましては、本同盟を構成する 11 市町村の長年の活動趣旨をご理解のうえ、下記事項について特段のご配慮を賜りますよう、お願い申し上げます。

記

１．霞ヶ浦土浦入り並びに高浜入り架橋の早期具体化

２．美浦栄線バイパス及び竜ヶ崎阿見線バイパスの整備促進

３．千葉茨城道路及び百里飛行場連絡道路の整備促進